

# 2017年度(平成29年度)福山市高校生議会

1 日 時 2017年(平成29年)10月29日(日)

13:30～15:00 ※終了予定

2 場 所 福山市議会 議場

3 高校生議会

- (1) 高校生議員紹介
- (2) 理事者紹介
- (3) 市長あいさつ
- (4) 市議会議長あいさつ
- (5) 開会宣告
- (6) 議事(代表質問)
- (7) 高校生議長あいさつ
- (8) 閉会宣告

## 【第1委員会】質問・提案

### 福山駅を中心とした中心市街地の活性化について

福山駅前の現状について

- ・福山駅構内にスタバができるなど、活気がでてきている福山駅だが、まだまだ物足りないように感じる。

「また来たい駅前づくり」のための提案と質問

- ① キャスパビルの跡地利用について
- ② 福山駅前のバス乗り場の使い方について
- ③ 子どもから大人まで集えるくつろぎの場をつくること

【答弁】（市長）

- ①福山駅前再生協議会において議論している。建物の所有者に内容をお伝えし、  
にぎわいや魅力を創出場となるよう連携を深める。
- ②時代によって求められるものは変わるので、常に検討していく必要がある。  
基本的な交通機能に加え、どんな機能が必要か検討し取り組んでいく。
- ③駅前を再生させるため、市民や観光客が長く過ごせる空間も必要。女性や若者、  
子どもから高齢者まであらゆる世代が集い、楽しむことができるような施設や  
空間について検討し、誰もが「行きやすい」「また来たい」と思える駅前になる  
よう取り組んでいく。



## 【第2委員会】質問・提案

### 「ネウボラ」の認知度アップに向けた取組について

子育て支援の充実を行う上での現状について

- ・全国的に急激な人口減少社会を迎えており、福山市でも生まれてくる子ども（出生者）が年々減少している。
- ・今年度から、妊娠、出産、子育てに関し、切れ目のない支援を行うため、相談体制を再構築し、安心して子育てができる環境を整備することを目的とした“福山ネウボラ”がスタートした。
- ・1人でも多くの方にネウボラ相談窓口のことを知ってもらい、必要な方に利用してもらうことが重要である。

ネウボラ相談窓口“あのね”を認知してもらうための提案と質問

- ① ネウボラ相談窓口“あのね”を認知してもらうため、どのような取組をしているのか。
- ② 出生時にスプーンやよだれかけなど、赤ちゃんへのプレゼントをしてみてもどうか。

【答弁】（市長）

- ①「広報ふくやま」や市のホームページ掲載、オープニングイベントを開催した。  
会議やイベントでのチラシ配布、子育て情報誌「あんしん子育て応援ガイド」  
市のフェイスブックや子育て支援アプリ「ふくナビ」などでも情報発信している。
- ②母子手帳交付時に“あのね”を知っていただく取組みをしている。今年度は、生後8・9か月の乳児の保護者に相談に来ていただく動機づけとしてプレゼント事業を実施する。今後、提案いただいた出産後の子育てに夢や希望がわいてくるようなプレゼント事業についても検討していく。

【第2委員会】質問・提案の資料



## 【第3委員会】質問・提案

### 「地元企業の認知度向上」について

地元企業の認知度の現状、課題

- ・市内の大学生を対象に行ったアンケート調査によると、市内の企業について「あまり知らない」という回答が6割以上である。
- ・地元の企業を知らないことで、地元企業に就職する若者が少なくなり、市外や県外の企業に就職するという問題が考えられ、その結果、福山市の人口は減少していく傾向にある。

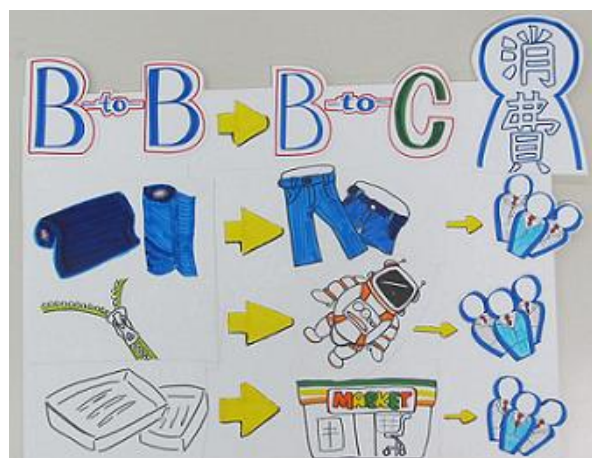
地域経済の活性化のための質問

- ① 若者が地元企業に興味を持ってもらい、認知度を上げるためにどのような取組をしているのか。

【答弁】（市長）

- ①本市には、オンリーワン・ナンバーワンといった製造業が多い。「ものづくりのまち」としての魅力を多くの若者へ伝えたい。市内の高校生・大学生向けの「企業見学バスツアー」や、市外の大学生が地元企業を見学する「サマーツアー」転出超過が著しい若年女性向けに「レディーワークカフェ」を開催している。小中学生向けには「ものづくりフェスタ」、中学生には「チャレンジウィークふくやま」を行っている。今後も地元企業や学校などと連携し、取組みを拡充する。

## 【第3委員会】質問・提案の資料



## 【第4委員会】質問・提案

### これからの世界に羽ばたく 希望の星 福山っ子の育成について

若い世代の夢の実現への現状

- ・若い世代には、自分の夢や、やりたいことがある人は多くいるが、行動できている人はほんの一握りである。その理由は、何から始めていいのかがわからないことや、周囲に自分の夢について自信を持って発信できないからではないか。

夢を持つ若い世代を後押しするための提案

- ① 人材プラットフォーム課の設置について。

【答弁】（市長）

- ① 「夢・未来プロジェクト」で中学生の夢を応援したり、子ども議会・高校生議会で市政への提案・意見を反映する場を設けている。今後も、夢や希望の実現に向けた若い世代への支援を行い、相談、協力者の紹介など、支援の仕組みづくりや人材育成のあり方について検討していく。



## 【第5委員会】質問・提案

### 福山城築城400年に向けた取組について

福山城築城400年の周知についての現状

- ・2019年に水野勝成初代藩主入封400年、2022年に福山城築城400年を迎えるが、福山に住んでいる人は知らない。

福山城築城から今までの400年間の周知についての提案

- ① 福山城築城400年の歩みをまとめたパンフレットの作成について。
- ② プロモーションビデオの作成について。

【答弁】（市長）

①福山城築城 400 年記念事業の目的は、先人たちの歩みや思いを振り返り、  
市民の心を一つにする機会とし、福山城をはじめ、市全体の歴史・文化資源等  
の価値を再認識し、磨き上げ、その魅力を市内外に発信し、市民の誇りとする  
もの。今年度はプレ事業も実施していく。パンフレットの作成は、理解を深め  
る良い方法だと思う。

②プロモーションビデオの作成は、高校生の皆さんも参画すれば、幅広い世代や  
市内外への広がりも期待できると思う。実行委員会において検討していく。



本会議終了後の座談会

